

審 議 資 料

項目：交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）

担当：水村委員

意 見
<p>【交通渋滞】</p> <p>1 夏の試行期間(2019年)の検証結果を明らかにするとともに、トラフィックペリメーター周辺と輸送ルートの渋滞を回避するため、多様な手段を用いて十分に周知を行うこと。</p>
<p>【交通渋滞】</p> <p>2 観客及び会場スタッフの移動は公共交通機関を最大限利用しているが、都外には公共交通機関のみでは十分な対応ができない会場もあることから、観客等の移動に支障がないよう対応を検討し明らかにすること。</p>
<p>【公共交通へのアクセシビリティ】</p> <p>3 セキュリティペリメーターの設置範囲及び設置期間については、関係機関と連携しながら検討することとしていることから、できるだけ早期にこれらの決定を行うこと。</p>
<p>【公共交通へのアクセシビリティ】</p> <p>4 競技会場周辺においては、セキュリティペリメーターが設置されることにより一般利用者のアクセス性が低下するため、設置に伴う影響や対策に関する事前周知を多様な手段を用いて十分に行うこと。</p>
<p>【公共交通へのアクセシビリティ】</p> <p>5 大会開催中の列車の混雑に対する一般利用者のアクセシビリティ向上に向けた対策を検討し、新たな対策を取りまとめた場合はその内容を記載すること。</p>

【交通安全】

- 6 一般道路の輸送ルートについては、4車線以上の高規格道路や歩車分離されている道路を原則選定するとしているが、輸送ルートとラストマイルが交差する箇所に信号機が設置されていない会場や歩道の狭い会場もある。また、大会にはアクセシビリティに配慮が必要な観客も多く訪れる。こうした地理的状況や観客の多様性にも配慮し、事前周知を十分に行うなど、交通安全に向けた取組を徹底すること。

【交通安全】

- 7 オリンピック競技期間中においても競技会場周辺では教育施設や保育園の児童の通行が想定されることから、大会関係車両の一時停止等の安全確認を徹底すること。